

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
専門学校ビーマックス		平成1年3月10日	武田 結幸		〒 700-0033 (住所) 岡山市北区島田本町1-6-12 (電話) 086-256-7610				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人武田学園		昭和56年2月5日	武田 結幸		〒 700-0033 (住所) 岡山市北区島田本町1-6-12 (電話) 086-256-7610				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル学科		平成30(2018)年度	-	令和 4(2022)年度			
学科の目的	ブライダル業界・ホテル業界及びそれぞれに関連する業種における専門知識及び技術を学び、接客に携わる者の基本であるホスピタリティーの精神を修得する。								
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格等)	レストランサービス・ホテルスタッフとしての経験を積んだ後、さまざまな施設や企業で、長期インターンシップに挑み、現場を学ぶ。2年生では夏に模擬結婚式を運営し、卒業制作として本物の結婚式をプロデュースする。								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,999 単位時間	497 単位時間	1,012 単位時間	490 単位時間	単位時間	単位時間
				単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率				
40人	42人	0人		0%	0%				
就職等の状況	■卒業生数(C)		23人						
	■就職希望者数(D)		23人						
	■就職者数(E)		23人						
	■地元就職者数(F)		14人						
	■就職率(E/D)		100%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		61%						
	■卒業生に占める就職者の割合(E/C)		100%						
	■進学者数		0人						
	■その他								
	(令和 6年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 株式会社ベストブライダル、有限会社ル・クル ジャパン、ブライダルハウス フローレス グランアクイール、株式会社バンデヴィスタ SARA津山、ヒルトン大阪、ヒルトン広島、ヒルトン沖縄宮古島リゾート、株式会社パソナグループ、ビジュピコグループ、株式会社菊の井、(株)三井不動産ホテルマネジメント									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無		評価結果を掲載したホームページURL				
当該学科のホームページURL	http://www.be-max.ac.jp/bridal-hotel/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)								
	総授業時数		1,999 単位時間						
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		400 単位時間						
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間						
	うち必修授業時数		1,999 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		400 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間						
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		400 単位時間						
	(B: 単位数による算定)								
	総単位数		0 単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		0 単位							
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位							
うち必修単位数		0 単位							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		0 単位							
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位							
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		0 単位							
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0人						
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人						
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人						
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人						
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人						
	計		2人						
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人							

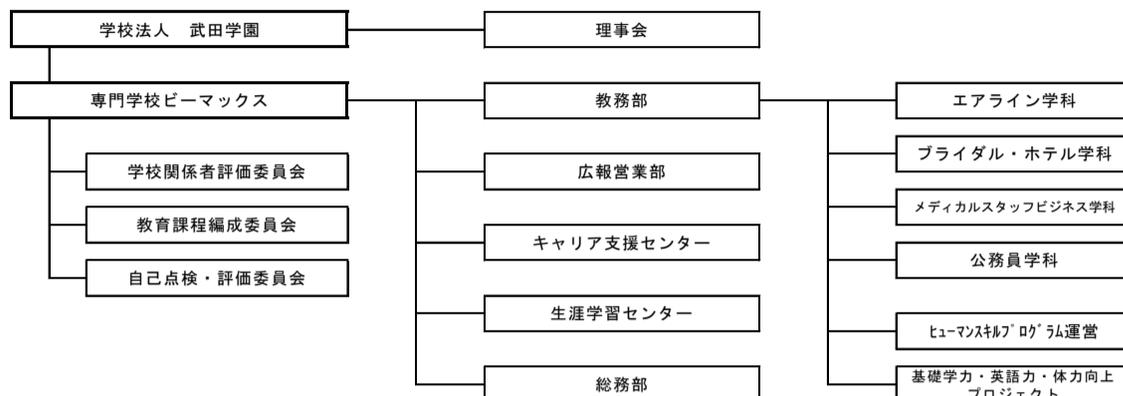
1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等)に反映、職場や社会で必要とされる人材を育成する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記



毎年、次期及び中長期のカリキュラム作成は、秋～冬にかけて実施するため、教育課程編成委員会も、その前後に1回ずつ開催する(計2回)。秋、学科教員間で今期実行中のカリキュラムにおける良い点や改善すべき点を洗い出し、秋の委員会においてそれらを検討する。外部委員の方からの最新の情報や意見交換の内容に基づいて、次年度及び中長期のカリキュラムを、学科教員+教務部全体で検討し作成。春の委員会において、今期の最終報告を交えながら、次期及び中長期のカリキュラムの内容を共有し、ご意見を賜る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 正明	両備ホールディングス株式会社	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①
林 健一	株式会社レイ	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
大谷 太陽	社会医療法人 社団十全会心臓病センター榊原病院	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
中村 博明	防衛省自衛隊岡山地方協力本部 岡山募集案内所	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
横田 悟	専門学校ビーマックス	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	
武田 知子	専門学校ビーマックス 理事・総務	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(冬、春)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月12日 14:00～16:00

第2回 令和7年3月24日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

大谷委員より、新人教育について、辞められたら困る前提で育成しているため、ひずみが生じているという指摘があった。たとえ優しく接しても退職する者は退職する。一方で、3年勤務を続けられたとしても、その時点で、企業側が期待しているラインまで成長はできていない。また、新人への接し方に苦心し、業務面でもカバーをするなど相対的に負荷が大きくなってしまった中間層が持たずに辞めてしまうのも頭が痛い。中村委員より、自衛隊でも、若手の幹部や下士官がどんどん退官してしまうとの発言があった。3月に大学生向けの合同企業説明会に参画したが、あまりにも人が来ずに驚いたと林(健)委員より報告があった。大学3年生の夏休み、場合によっては大学2年生のうちからインターンシップなどを通じて一部企業の青田買いが始まっており、この人手不足の中、従来の採用スケジュールの見直しもせねばならない、いったいどうすれば良いのかというお話があった。そういう環境の中で、ビーマックスの学生が見つけておくべきものを改めて問うと、外国語に力を入れることも大事だが、そもそも日本語がきちんと話し、使えるようになって欲しいとのこと。お客様に対して敬語が使えない、こちらが話している言葉の意味が理解できず、指示が守れない事態が普通に起きてしまっている。また、挨拶やメモを取るといった基本的なことができない者も多い中、ビーマックスではよく指導がされているので、そこは継続してほしいとのことだった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
ブライダル業界、ホテル業界、またその関連企業などから、本人が希望する企業(県内外問わず)に学生の受け入れをお願いし、その就業経験を通して本校での学びの効果を高めるとともに、職務の一端を理解させ、現場で求められる能力とは何かを学ぶ。その目的を達成するために、受け入れ先の担当者とは綿密に連携が取れ、学生への日々の指導～評価まで、適切に行って頂けるよう依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
学科の担当教員が、実習内容の詳細について、企業の担当者と事前に打ち合わせ・調整を行い、学生が目指すべき成果や指標について定める。実習期間中は、定期的に企業を訪問し、学生の取り組む姿勢や状況を常に確認する。実習終了後は、各企業からの評価に加えて、本人の実習日誌や出勤状況などを総合的に判断し、担当教員が評価する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	ブライダル業界、ホテル業界、またその関連企業などから、本人が希望する企業(県内外問わず)に学生の受け入れをお願いし、その就業経験を通して本校での学びの効果を高めるとともに、職務の一端を理解させ、現場で求められる能力とは何かを学ぶ。	ANAクラウンプラザホテル岡山、THE STYLE、ラヴィール岡山、ヴェルジェくらしき、アーヴェリーエル迎賓館、レディアンズ、季譜の里 他 全34社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
職員の業務上の知識と技能を高め、あわせて職員の人格と見識を高め、協調性を養い、職務の質的・量的向上を図るために、教育訓練(教員研修)を行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等
研修名「2024年度全国バンケットマネージャーカンファレンス 夏期研修会」(連携企業等:岡山ウエディング協議会)
期間:令和6年7月9日(火) 対象:ブライダル・ホテル学科 上村・西本
内容:[Banquet Managers Conference]～ホテル企業マネージャーの全国組織。「私たちが考えるこれからのウエディング」と題して、予選を勝ち抜いた35歳以下の若手キャプテン、プランナー11名がプレゼンを行った。いずれの登壇者からも、ホテルウエディングの魅力とそしてお客様のニーズやトレンドを把握し、提案につなげる努力が伝わってきた。また、全国で唯一人口が増えている東京都は、合計特殊出生率は全国で最も低い水準となっており、東京都からも婚姻率の上昇に団体として何か力添えをという打診があるとのこと。都市部も地方も状況は同じであり、地域を超えてアイデアを出し合いたい。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「インクルーシブ教育の進め方～多様な学習ニーズを持つ学生・生徒との関わり方について」(連携企業等:ばんばん、NPO法人ステップ他)
期間:令和6年6月21日、同年7月31日、同年10月25日 対象:専門学校ビーマックス 全教職員
内容:日本の学校現場において、発達障害など多様な学習ニーズを持つ学生・生徒への指導は、近年非常に重要なテーマとなっている。中でも、すべての子どもに対して平等な学習機会を提供し、個性やニーズに応じた支援を行う、インクルーシブ教育の推進が求められている。しかし、教育現場での専門的な知識を持った人間の育成が足りていない、地域によって専門家や対応できる学校の有無などが全く異なっており、まだまだ発展途上でもある。研修では、毎回ケーススタディとして、特性を持った生徒への声の掛け方や学習指導のポイントなども学んだ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「岡山で結婚、結婚式を挙げる人を増やす企画を考える」(連携企業等:岡山ウエディング協議会)
期間:令和7年7月9日以降定期開催 対象:ブライダル・ホテル学科 上村
内容:岡山で暮らす若者が恋愛や結婚を前向きに捉え、行動するきっかけとなるイベントを企画・実行する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「PSAプラクティショナー養成講座・PSAスクールコーチ養成講座」(連携企業等:株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング)
期間:令和7年7月以降全12回 対象:専門学校ビーマックス 教職員
内容:PSAとは、精神医学ベースのパーソナリティ診断のことで、先天的・遺伝的な「情動パターン」と、後天的・経験的な「心の筋力の状態」のふたつに分けて分析をしている。人は生まれながらの個性があり、その個性を活かしながら成長を目指し、豊かな人間関係を育めるよう、自己・そして他者の理解を目指す。PSAスクールコーチは、PSAの世界観・人間観に基づいて、クライアントと接する。その際、クライアントのパーソナリティだけでなく、コーチ自身の特性も理解して、コーチングに臨む。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価結果の客観性と透明性を高めるとともに、関連企業や団体、高校、卒業生、地域住民など、学校と密接に関係する方々の理解と、継続した連携協力体制を確保するため、「学校関係者評価委員会」を設置し、「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言や意見などの評価結果を、学校運営等の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

宇野委員より今、退職代行というのが流行っているが、あれをされると会社はたまったものではない。僕は、事のはじめ、事の終わりは、自身でけじめをつけるべきだと思っている。ピーマックスが大切にしている挨拶と礼も、まさにはじめと終わり。すべてに通じていることだと引き続きしっかり伝えて欲しいとの発言あり。中村委員からは、自衛隊内での「ハラスメント研修」では、上官からの声掛けや行動について、具体的かつ事細かな指導があるとの情報共有。林(健)委員からも、「ハラスメント研修」が定期的にあるが、終了後管理職たちが口にするのは、「では、どのように指導すれば良いのか」。指導する側も苦しんでいる。今年は、本校で長年用いている「PSA(気質・性格検査)」に基づいたコーチング技法を、教員全員で学んでいることをご報告。教員が「黙って俺の言うことに従え」と言うのはいけない、言っても伝わらないことを理解し、かつ学生たちが我々の指導や声掛けを納得して受け入れてもらえるよう勉強している。「PSA」の根底にある考え方は、生まれ持った気質は変えられないが、成長・成熟するにつれて、自分の良くないところもコントロールできるようになり、まわりの人たちとも関わることができるようになるというもの。長年伝え続けているこのことが、頭で分かるだけでなく、学生本人の行動に落とし込めるよう、これからも精進する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
宇野 元浩	税理士法人 エフ・エム・エス	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	②卒業生 ⑥専門家等評価委員
山脇 惇	岡山寿郵便局	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	④地域住民 ⑦専門家等評価委員
濱田 浩昭	岡山県立岡山工業高等学校	令和7年4月1日～令和7年3月31日(1年間)	⑤高校等評価委員
林 健一	株式会社レイ	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員
大谷 太陽	社会医療法人 社団十全会心臓病センター榊原病院	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員 ②卒業生
中村 博明	防衛省自衛隊岡山地方協力本部 岡山募集案内所	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

<https://www.be-max.ac.jp/release/17655/>

令和7年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育目標や教育活動の計画、実績等について、学生や保護者には、入学前から定期的実施する三者面談の場において直接お伝えしている。また学内で自己点検評価を実施した後、学校関係者評価を実施し、それぞれの内容をホームページ上で公表。ホームページやパンフレットを通じて、本校の活動を、関連業界団体や地域住民、卒業生など幅広くご覧頂くことで、本校に対する理解を深めて頂き、教育内容のさらなる充実を図る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校紹介・理念、教育方針、ピーマックスの学び、沿革
(2) 各学科等の教育	各学科紹介
(3) 教職員	教員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	インターンシップ、社会貢献活動、就職サポート、就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、部活動、学友会
(6) 学生の生活支援	パーソナリティ診断に基づく面談・指導
(7) 学生納付金・修学支援	学納金及び学納金の支援・免除制度
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

専門学校ピーマックス パンフレット、学生募集要項、ホームページ、リーフレット

<https://www.be-max.ac.jp/release/17655/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			セルフマネジメントⅠ①	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの帯学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	1前	77	5		○		○		○		
2	○			ブライダルビジネスⅠ	ブライダル、ホテル業界の概要を知り、実習、就職先を意識した情報、知識を身に付ける。ホテル、式場見学、講演など本物にふれて職業理解を深める。	1前	75	5	○	△		○		○		
3	○			ホテルビジネスⅠ	ホテル業界の概要を知り、就職先を意識した情報、知識を身に付ける。サービススタッフとしての心構えと考え方を身に付ける。現場実習により業務に関する詳しい知識を得る。	1前	60	4	△	○		○	○	○		
4	○			マナープロトコール	日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、正しく学び、理解する。	1前	32	2	○			○				○
5	○			ブライダルホテル英会話Ⅰ	ホテル・ブライダル業界で必要な英単語、英語表現をロールプレイなどを通して学ぶ。	1前	30	2	△	○		○				
6	○			インターンシップ研修①	インターンシップに向けての業界研究、仕事の理解を計る。社会人としてどうあるべきか、働くこととはを知る。	1前	75	5	○	△		○		○		
7	○			スピーキング	発声、滑舌、敬語の使い方から、実際にアナウンス・リポートなどのワークを行い、お客様に伝わる話し方を学ぶ。	1前	16	1	△	○		○		○		
8	○			ヒューマンスキルプログラム	新入生研修及び宿泊研修を通して、社会人としての基礎・基本を学ぶ。個人としての振る舞いに加えて、集団の中での個人の役目や役割を意識した言動を身に付ける。	1前	62	4	△	○		○		○		
9	○			インターンシップ①	4か月にわたる就業体験を通して、実践的スキルを習得する。社会人としてのモラルを守りながら、その企業のルールに従って業務に従事する。	1前	80	2			○		○			○
10	○			学科研修Ⅰ	学校行事、学科イベント、履修状況報告書などを通して協調と感謝の心をはぐむ。	1通	31	2	△	○		○		○		
11	○			ビジネス能力検定対策	ビジネス能力検定3級の学習を通じて、社会人としてのビジネスマナーを身に付け、検定の合格を目指す。	1通	30	2	○	△		○		○		
12	○			セルフマネジメントⅠ②	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの帯学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	1後	61	4		○		○		○		

13	○		インターンシップ研修②	インターンシップに向けての業界研究、仕事の理解を計る。社会人としてどうあるべきか、働くこととはを知る。	1後	90	6	○	△			○	○
14	○		パソコン基礎	インターネットを利用する際の情報モラル・セキュリティ知識を身につける。Word・Excel・PowerPointの基本的な使用・操作方法を学ぶ。	1後	30	1		△	○	○		○
15	○		インターンシップ②	4か月にわたる就業体験を通して、実践的スキルを習得する。社会人としてのモラルを守りながら、その企業のルールに従って業務に従事する。	1後	320	10			○	○		○
16	○		セルフマネジメントⅡ①	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの常学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	2前	90	6			○	○		○
17	○		ブライダルビジネスⅡ	ブライダル、ホテル業界の概要を知り、実習、就職先を意識した情報、知識を身に付ける。ホテル、式場見学、講演など本物にふれて職業理解を深める。	2前	30	2	○	△		○		○
18	○		イベントプランニング	夏に接客サービスのイベントを企画・運営を行う。今までの授業の成果を形に表し、協力企業関係者との打ち合わせや交渉も行う。	2前	120	8	△	○		○	○	○
19	○		サービス介助	サービス業界で求められる、高齢者や障がいをお持ちの方などお手伝いを必要とされるお客様への「おもてなしの心」「安全な介助技術」を学び、サービス介助手資格を取得する。	2前	30	2	○	△		○		○
20	○		就職対策Ⅱ	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身に着ける。自己分析を通し、就職活動を進めていく上での軸を探す。	2前	75	5	△	○		○		○
21	○		中国語①	中国語の発音をマスターする。基本的な語彙を読めるよう、簡単な文法を理解し、日常会話を話し、聞き取れることを目指す。	2前	30	2	△	○		○		
22	○		MOSⅡ	Excelの基本的な使用方法を学び、MOS Excelの取得を目指す。	2前	60	2		△	○	○		○
23	○		ブライダルホテル英会話Ⅱ①	ホテル・ブライダル業界に必要な英単語、英語表現をロールプレイなどを通して学ぶ。	2前	30	2	△	○		○		
24	○		学科研修Ⅱ	学校行事、学科イベント、履修状況報告書などを通して協調と感謝の心をはぐくむ。	2通	45	3	△	○		○		○
25	○		卒業制作	2月に開催する模擬結婚式に向けて、結婚式の流れ、準備、役割を知る。ブライダルの業務を知り、顧客のために力を発揮することを体験する。チーム全員で一つの結婚式を全うし、個人の力だけでは仕事はできないことを知る。	2通	120	8			○	○	○	○
26	○		ホテルビジネス検定対策	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級合格を目指す。検定の学習を通して、現場での実践に活かせる知識を身につける。	2通	75	5	○	△		○		○
27	○		課題研究	社会人として身に着けるべき知識、演習等で自らの課題を挙げ、それを習得する。就職先で必要な課題を自分で考え、その習得方法も企画、実施する。	2通	30	2	△	○		○		○

28	○		セルフマネジメントⅡ②	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの常学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	2 後	75	5		○	○	○			
29	○		ブライダルコーディネーター検定対策	ブライダルコーディネーター技能検定テキストをもとにブライダル業界の変遷及び、それに伴う法律・文化・習慣を理解し、検定の取得を目指す。	2 後	60	4	○		○	○			
30	○		中国語②	基礎知識を習得し、発音・単語・基本文法を中心に日常会話を練習する。初・中級レベルの基礎を身につけ、それに基づいてホテルで働く際に使用する中国語を学ぶ。	2 後	30	2	△	○	○				
31	○		ブライダルホテル英会話Ⅱ②	ホテル・ブライダル業界に必要な英単語、英語表現をロールプレイなどを通して学ぶ実践英会話。	2 後	30	2	△	○	○				
合計					31科目	1999単位時間(115単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1710時間以上を履修し、累計卒業取得単位数を取得していること。卒業必須資格をすべて取得していること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：すべて必修科目である		1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。